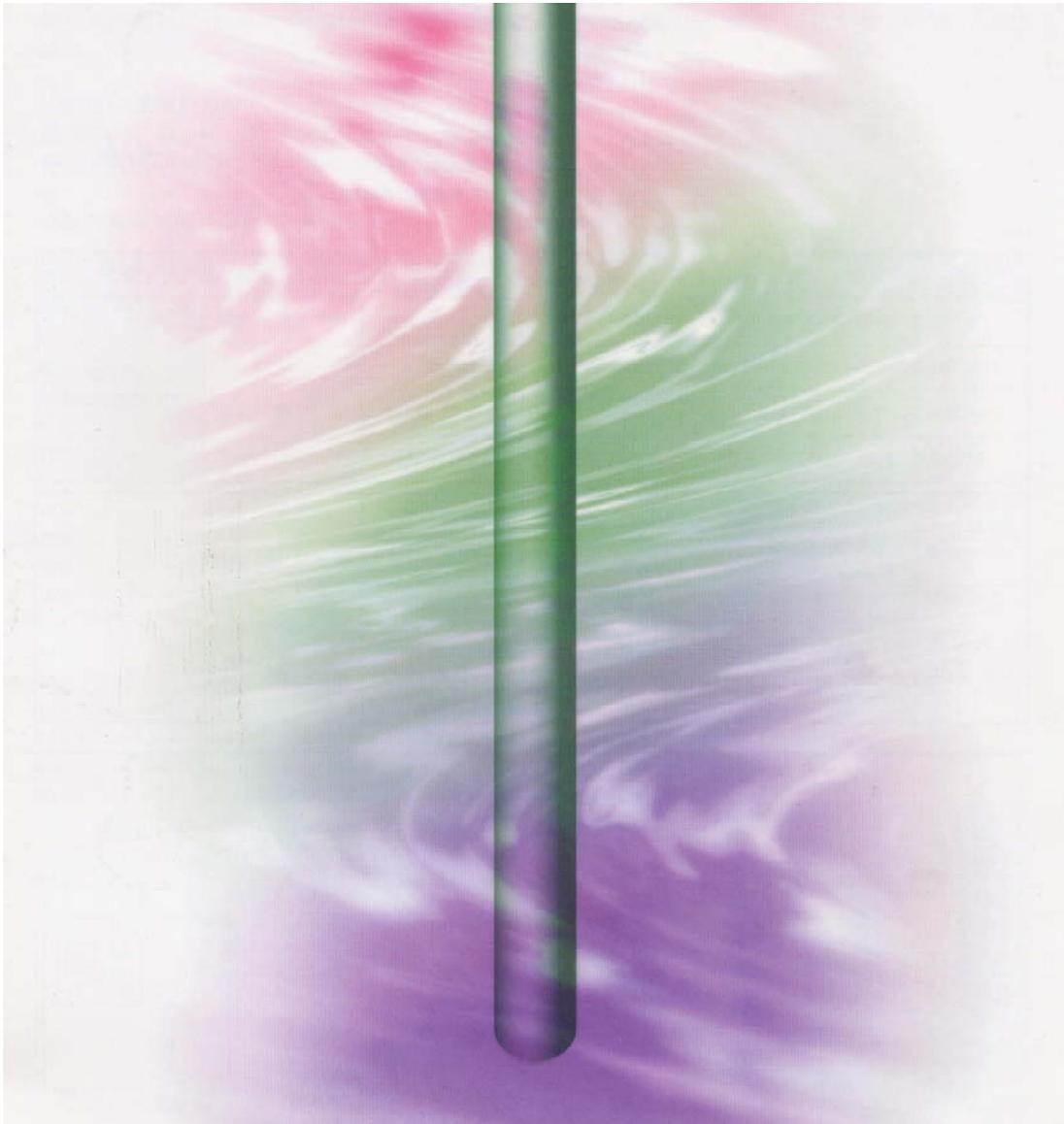


セ ン サ ー

2013年 1月号 第45号

東京温度検出端工業会 会報



2013年の年頭にあたって

2013年1月

会長 林 正 樹

皆様、新年明けましておめでとうございます。

平素は会の活動にご理解とご協力を賜り、誠に有難うございます。この場を借りまして厚く御礼申し上げます。

さて2013年は如何なる年になりますでしょうか。昨年末の総選挙で自民党が圧勝してから、安倍総理の掲げる経済政策、金融緩和を主体とした、いわゆるアベノミクスへの期待から円安・株高が進行しております。一方で実体経済はと云いますと、非常に厳しい状態です。鉱工業生産指数（2005年=100）の推移を見ますと、2012年1月に95.9だったのが、5月頃から落ち始め11月の速報値は86.4と年初に較べて約10ポイントも落ちています。工作機械の受注も12月は対前年比27.5%減で、8ヶ月連続で前年実績を下回った、との報道もなされています。日本半導体製造装置協会が発表している半導体製造装置のBBレシオ（受注と販売の比率、3ヶ月移動平均）も9月の0.65を底に、10月0.70、11月0.89と上昇してきたものの、好調・不調の境目である1.00にはまだ至っておりません。これらの数値を見る限り、日本経済は不況の真っ只中にあるといえましょう。

現在、政府はアベノミクスにより大胆な経済政策を実施すると言っていますが、大胆な経済政策というとは1980年頃、米国のレーガン大統領の行ったレーガノミクスというのがあったのを思い出しました。あの頃の米国と今の日本では状況が大分異なりますが、参考になることもあります。当時の米国は不況下のインフレ（スタグフレーション）にあり、それに対するレーガノミクスは次のようなものでした。

1. 減税、規制緩和により投資を促進
2. 歳出配分を軍事支出に転換して強いアメリカを実現
3. 通貨供給量を抑制してインフレを抑制

これを現在の日本にあてはめると、1. は経済活性化にそのままあてはまる、3. はデフレ対策としてこの逆の金融緩和を行う、難しいのは2. で、今のところ公共工事を実施するようですが、これが果たして景気対策になるのかどうか。一時的な対策より効果が持続する対策、例えばiPS細胞の研究のような、最先端の科学技術分野に思い切った支援をすることが必要ではないでしょうか。そうして日本は米国のように軍事ではなく、科学技術の分野で世界をリードする国になって欲しいものです。

レーガノミクスでは2年で景気は回復しましたが、2. により巨額の財政赤字が、3. により金

利が上昇してドル高になり貿易赤字が生じ、「双子の赤字」と言われました。現在の日本は既に財政赤字は巨額であり、これ以上赤字は増やせないぎりぎりのところにあること、また円安も行き過ぎるとエネルギーコストにはね返ること等、難しい舵取りが要求されます。また経済活性化に規制緩和が必要ですが、TPP（環太平洋パートナーシップ）はどうするのでしょうか。自民党農林族議員は強硬に反対しているようですが、これを抑え込めるかどうか、安倍総理のリーダーシップが問われるところではあります。

中国との領土問題から来る緊張関係等の問題はありますが、今年は何としてでも長年続くデフレからの脱却、経済発展の元年になって欲しいものです。

最後になりましたが、当工業会会員会社の益々の発展と、皆様のご健勝を祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

会の動き

- ◎平成 24 年 2 月 3 日 新春講演会 … 参加者 37 名（20 社・団体）
会場：KKR ホテル東京
内容①直接通電パイプの温度測定
講師：田中貴金属工業株式会社 浜田登喜夫氏
内容②使用時の熱電対の破壊とその解析
講師：石福金属興業株式会社 長谷川浩一氏
- ◎平成 24 年 2 月 3 日 新春懇親会 … 参加者 41 名（20 社・団体）
会場：KKR ホテル東京
- ◎平成 24 年 6 月 7 日 第 38 回定時総会及び懇親会 … 参加者 26 名（18 社・団体）
会場：TKP 渋谷カンファレンスセンター
議題①第 38 期事業報告及び収支決算報告
②第 39 期事業計画案及び収支予算案審議
- ◎平成 24 年 6 月 7 日 第 39 期第 1 回理事会 … 出席 6 社 11 名、欠席 1 社
議題①「実務講座」の進捗状況
②技術懇談会の進捗状況
③新春講演会の進捗状況
- ◎平成 24 年 6 月 29 日 第 58 回技術懇談会 … 参加者 23 名（10 社・団体）
東京都立産業技術研究センター見学会

- ◎平成 24 年 9 月 4 日 温度計の実務講座（第 1 回） … 参加者 40 名（13 社・団体）
会場：文京シビックホール 5 F
内容：卑金属熱電対と補償導線及び保護管
講師：風岡 学氏（株式会社岡崎製作所）
- ◎平成 24 年 10 月 18 日 温度計の実務講座（第 2 回） … 参加者 39 名（17 社・団体）
会場：文京シビックホール 5 F
内容：貴金属熱電対と標準熱電対
講師：浜田 登喜夫氏（田中貴金属工業株式会社）
- ◎平成 24 年 11 月 28 日 温度計の実務講座（第 3 回） … 参加者 36 名（12 社・団体）
会場：文京シビックホール 5 F
内容：測温抵抗体対
講師：池上 宏一氏（林電工株式会社）
- ◎平成 24 年 12 月 4 日 一日見学会 … 参加者 34 名（14 社・団体）
見学先：産業技術総合研究所

一日工場見学会報告

ハネウエルジャパン株式会社 飯野 昌基

東京温度検出端工業会の見学会が 2012 年 12 月 4 日につくばにて行われました。

見学会の場所は独立行政法人産業技術総合研究所（産総研／ AIST）つくばセンターで、私にとって今回初めての見学会参加です。

皆様ご存知の通り、産業技術総合研究所つくばセンターはキログラム原器など全ての標準を持っているセンターです。昨今の経済活動のグローバル化により、同じ基準で製造された部品を世界中から調達する必要性が増しております。この環境の中で、測定の信頼性は製品信頼性のため、最も重要な要素の一つだと思われます。今回訪問させて頂いた産業技術総合研究所は、私達メーカーにとって重要な、測定の信頼性保証に必要な不可欠な校正や標準の研究を行っている日本最大級の公的研究機関のため、技術系仕事を行っている私にとっては非常に興味深い機関です。

産業技術総合研究所では、温度湿度科内の高温度標準、低温度標準、放射温度標準、湿度標準及び熱電対標準の各研究室の見学をさせて頂きました。私達会員にとって重要な定点定義のため、高温部分では共晶点について実験実証を通じた値付け等の研究を行い、極低温ではその温度環境を作る為の装置を自作し、それを利用した実験など世界でも最先端の研究や、世界標準を決める上で重

要になる、各国研究機関で同条件の試験を行う為の装置開発の説明を受けることを通じ、メーカーとして通常当たり前のように扱っている"標準"という内容についての重要性や値付けの難しさを体験・勉強をさせて頂きました。

その中でも特に低温度標準研究室では、極低温の環境を作るため約5年前から設備を作り始めまだその途中段階であり、設備完成後から極低温環境下での研究が始まるという、将来を見据えた研究を行っている事に深い感銘を覚えました。

最後に、このような有意義な見学をさせて頂きました産業技術総合研究所様及び様々な段取りをして頂いた関係者の皆様に心より御礼申し上げます。

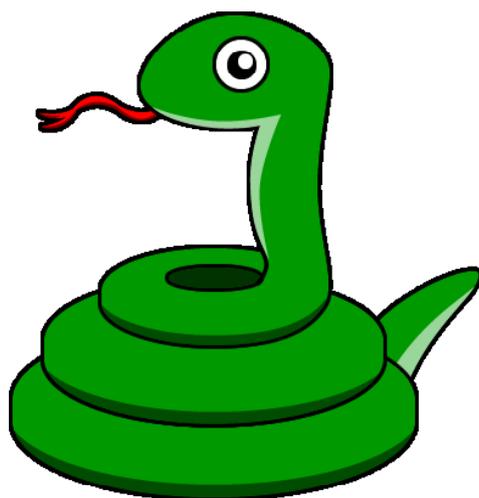
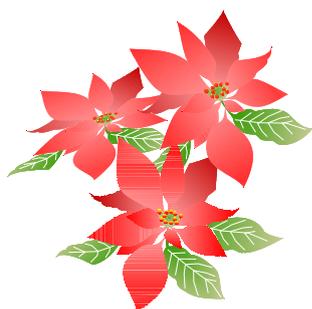
以 上



編集後記

新年あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。
昨年はロンドンオリンピックがあり、連日寝不足の方も多かったことと思います。特に女子サッカーや女子バレーボール、水泳のリレーといったチームで戦う競技での日本選手の活躍が目覚ましかったことが印象に残っています。

日本人が従来より得意としてきた「チームプレー」を仕事にも生かして、良い一年にしていきたいと思ひます。



平成25年1月発行 No.45

発行所 東京温度検出端工業会

事務局

〒113-0021 東京都文京区本駒込6-5-5

林電工 株式会社 内

電話 03-3945-3151

FAX 03-3945-3130